

2022年度

東京音楽大学大学院

音楽研究科音楽専攻博士後期課程

学生募集要項

一般選抜入学試験

社会人特別選抜入学試験

外国人留学生特別選抜入学試験

TCM

目次

I	博士後期課程概要	
①	博士後期課程設置の趣旨	1
②	育成する人材像	1
③	担当教員	2
④	教育課程	3
II	試験概要 （一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜共通）	
①	アドミッション・ポリシー	4
②	募集人員	4
③	日程一覧	5
④	試験場	5
⑤	選抜方法	5
⑥	試験科目	6
⑦	出願の流れ	8
⑧	合格発表	9
⑨	問い合わせ先	9
III	一般選抜入学試験	
①	出願資格	10
②	出願書類	10
IV	社会人特別選抜入学試験	
①	出願資格	12
②	出願書類	12
③	大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例について	14
V	外国人留学生特別選抜入学試験	
①	出願資格	15
②	出願書類	15
VI	入学手続	
①	入学手続	18
②	学費	18
VII	奨学金・経済的支援制度	19
VIII	成績開示	19
IX	個人情報の取り扱いについて	19

I 博士後期課程概要

1 博士後期課程設置の趣旨

- (1) 本学大学院は、広い視野に立って、音楽に関する精深な学術と技能を修得させ、音楽専攻分野における研究能力と高度の専門性を有する職業等に必要とされている能力を養い、その深奥をきわめて、文化の進展に寄与することを目的としている(本学大学院学則第2条)。
- (2) 本学の修士課程では、1993年4月の設置以来、専門の基礎を重視する学部段階における教育との一貫性の観点から、器楽専攻、声楽専攻、作曲指揮専攻及び音楽教育専攻の4専攻の細分化された専門領域において、より高度化を図るための教育研究が行われてきた。
- (3) 2014年4月に設置された博士後期課程では、修士課程までに身につけた各専門分野の研究能力をより高めると同時に、音楽専攻という一つの専攻のもとに、総合的な知見及び社会的・実践的能力を習得して、幅広い視野と的確な判断力を備えた、優れた高度専門職業人及び研究者の養成を行うことを目的としている。

2 育成する人材像

博士後期課程では「音楽の各分野における高度な専門性」「総合的な知見」「社会的・実践的能力」を備えた次のような人材を育成する。

- (1) 音楽の演奏や創作に関する高度の専門性を有することに加え、総合的な知見をもって文化の進展に寄与する芸術表現を論理的かつ主体的に研究、追求し、かつこれを他分野の人々にも言語化して伝達することを通して社会的・実践的能力を発揮することのできる音楽家、すなわち音楽の実践を行う演奏家並びに作曲家(以下「音楽家」という。)
- (2) 音楽と教育に関する専門的な知識を修得していることに加え、それらを基盤としながら学際的な研究を行い、かつ音楽教育における実践的スキルと指導法を習得し、教育実践と研究活動をバランスよく遂行しながら、音楽家や音楽学研究者と共同して音楽文化の発展に貢献し、主に高等教育において音楽家や音楽教師の育成に携わる音楽教育者並びに音楽教育学研究者。
- (3) 音楽に関する深い学識をもって、人間の音楽文化を価値づけることに加え、総合的な知見を有しながら自立して研究を推進し、かつ様々な音楽家や音楽教育者、音楽教育学研究者とも共同して、その成果を社会に発信していく実行力をもった音楽学研究者。

3 担当教員

(2021年4月1日現在)

職位	氏名 (専門分野)
教授	野 島 稔 (ピアノ)
教授	岡 田 敦 子 (ピアノ)
教授	石 井 克 典 (ピアノ)
教授	大 竹 紀 子 (ピアノ)
教授	佐 藤 俊 (ピアノ)
准教授	川 上 昌 裕 (ピアノ)
准教授	御 邊 典 一 (ピアノ、ピアノ伴奏)
准教授	山 洞 智 (ピアノ、ピアノ伴奏)
教授	大 谷 康 子 (ヴァイオリン)
教授	荒 井 英 治 (ヴァイオリン)
教授	ドミトリー・フェイギン (チェロ)
教授	星 秀 樹 (コントラバス)
教授	工 藤 重 典 (フルート)
教授	小 串 俊 寿 (サクソフォーン)
准教授	古 部 賢 一 (オーボエ)
教授	釜 洞 祐 子 (声楽)
教授	菅 有 実 子 (声楽)
教授	横 山 恵 子 (声楽)
教授	水 野 貴 子 (声楽)
教授	小 森 輝 彦 (声楽)
教授	服 部 洋 一 (声楽)

職位	氏名 (専門分野)
准教授	緑 川 ま り (声楽)
准教授	秋 山 隆 典 (声楽)
准教授	伊 達 英 二 (声楽)
准教授	星 洋 二 (声楽)
専任講師	志 村 文 彦 (声楽)
教授	西 村 朗 (作曲)
教授	梶 場 富 美 子 (作曲、ソルフェージュ)
教授	藤 原 豊 (作曲、ソルフェージュ)
准教授	原 田 敬 子 (作曲)
教授	広 上 淳 一 (指揮)
准教授	荒 尾 岳 児 (ソルフェージュ)
准教授	岡 島 礼 (ソルフェージュ)
教授	渡 辺 裕 (音楽教育学)
准教授	下 道 郁 子 (音楽教育学)
准教授	福 田 裕 美 (音楽教育学)
教授	坂 崎 則 子 (音楽学)
教授	武 石 み ど り (音楽学)
教授	村 田 千 尋 (音楽学)
教授	藤 田 茂 (音楽学)
教授	金 城 厚 (音楽学)

4 教育課程

履修区分		授業科目	履修年次			修得単位数		
			1年次	2年次	3年次	小計	中計	合計
必修科目	総合研究科目	博士総合研究指導	0	0	0	0	2	10
		博士総合演習Ⅰ	1			1		
		博士総合演習Ⅱ		1		1		
選択必修科目	専門研究科目	器楽専門研究Ⅰ	2			2	4	
		器楽専門研究Ⅱ		2		2		
		声楽専門研究Ⅰ	2			2		
		声楽専門研究Ⅱ		2		2		
		作曲指揮専門研究Ⅰ	2			2		
		作曲指揮専門研究Ⅱ		2		2		
		ソルフェージュ専門研究Ⅰ	2			2		
		ソルフェージュ専門研究Ⅱ		2		2		
		多文化音楽実践専門研究Ⅰ	2			2		
		多文化音楽実践専門研究Ⅱ		2		2		
		音楽教育学専門研究Ⅰ	2			2		
		音楽教育学専門研究Ⅱ		2		2		
		音楽学専門研究Ⅰ	2			2		
		音楽学専門研究Ⅱ		2		2		
		多文化音楽専門研究Ⅰ	2			2		
		多文化音楽専門研究Ⅱ		2		2		
	共同研究科目	博士共同研究 AⅠ	2			2	4	
		博士共同研究 AⅡ		2		2		
		博士共同研究 BⅠ	2			2		
		博士共同研究 BⅡ		2		2		

【修了要件及び履修方法】

博士後期課程に3年以上在籍し、教育課程表に定める総合研究科目を2単位、専門研究科目を4単位及び共同研究科目A又はBを4単位、合わせて10単位以上を修得し、博士論文及び研究演奏又は研究作品(専門研究科目のソルフェージュ、音楽教育学、音楽学の専門研究Ⅰ・Ⅱを選択した者は博士論文のみ)の審査及び最終試験に合格すること。



試験概要(一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜共通)

1 アドミッション・ポリシー

本研究科は、広い視野に立って、音楽に関する精深な学術と技能を修得させ、音楽専攻分野における研究能力と高度の専門性を有する職業等に必要とされる能力を養い、その深奥をきわめて、文化の進展に寄与することを目的としている。

博士後期課程においては、修士課程で培った専門的な知識・能力に加えて、総合的な知見と社会的・実践的能力を備えた高度専門職業人(音楽家、音楽教育者)と研究者(音楽教育学研究者、音楽学研究者)の養成を行うこととしている。

音楽研究科の教育研究に関する基本理念は、人間力豊かで広い視野を持ち、音楽に関してより高度な専門性と独創力を有し、国内外で活躍する音楽家、音楽教育者、音楽教育学研究者並びに音楽学研究者を育成することにあり、次のような資質と問題意識を持つ人材を対象として入学者選抜を行う。

- (1) 博士後期課程への進学目的が明確な者
- (2) 専門分野における基礎的・専門的な音楽力及び語学力を身に付けている者
- (3) 博士後期課程の教育研究目標や研究活動を十分理解し、活用できる者

2 募集人員

音楽研究科音楽専攻博士後期課程 3名
(社会人及び外国人留学生を含む)

専攻	学位	専門分野
音楽	博士(音楽)	器楽・声楽・作曲指揮・ソルフェージュ・多文化音楽実践
	博士(音楽教育学)	音楽教育学
	博士(音楽学)	音楽学・多文化音楽研究

3 日程一覧

出願期間		2022年1月8日(土)～1月18日(火) 消印有効	
検定料振込期間		2022年1月8日(土)～1月18日(火)(検定料40,000円)	
試験期間	外国語試験	2022年2月20日(日)	10:00～11:40 (100分)
	専門科目試験・口述試験	2022年2月20日(日)	声楽(実技・口述) 音楽教育学(口述) 音楽学(口述)
		2022年2月21日(月)	ピアノ、ピアノ伴奏(実技・口述) 管打楽器(実技・口述)
		2022年2月22日(火)	弦楽器(実技・口述) ソルフェージュ(実技・口述) 作曲(口述)
		受験者に別途通知	指揮、多文化音楽実践、多文化音楽研究
合格発表	ホームページ	2022年2月26日(土) 15:00～2月28日(月) 17:00	
入学手続期間		2022年3月1日(火)～3月12日(土)消印有効	
成績開示申請期間		2022年4月1日(金)～4月30日(土)	

【注意】各専門分野の試験日程については、事情により変更することがあります。試験日程及び試験会場についての詳細は、2月上旬に通知します。

4 試験場

東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス (住所：〒153-8622 東京都目黒区上目黒1-9-1)
東京音楽大学 池袋キャンパス (住所：〒171-8540 東京都豊島区南池袋3-4-5)

5 選抜方法

出願書類審査、外国語試験、専門科目試験及び口述試験の成績を総合して判断します。

【受験方式の選択について】

演奏課題のない専門分野の受験者は「対面式」もしくは「非対面式」を選択して出願することができます。演奏課題のある専門分野については「対面式」で実施します。ただし、海外在住者で入学試験期間中に日本への入国が困難な受験生は、東京音楽大学 入試課へ事前に問い合わせてください。「非対面式」を選択する場合、受験する試験科目ごとに以下の機器が必要となります。

外国語試験

- ・パソコン(カメラ・マイク・スピーカーが内蔵または付属されている機種)
 - ・スマートフォンまたはタブレット
- ※イヤホンまたはヘッドフォンを用意してください。

上記以外の試験

- ・パソコン・スマートフォン・タブレットのいずれか
- ※パソコンの場合はカメラ・マイク・スピーカーが内蔵または付属されている機種を使用してください。
※イヤホンまたはヘッドフォンを用意してください。
「非対面式」の実施方法詳細は後日ホームページで発表します。

6 試験科目

(1)外国語試験(100分)

- ① 英語・ドイツ語・フランス語・イタリア語の中から、1か国語を出願時に選択。
- ② 語学辞書の持ち込み可(音楽学を除く)。ただし、電子辞書の使用は認めません。
- ③ 社会人特別選抜は器楽のみ免除。
- ④ 外国人留学生特別選抜は免除。ただし、音楽教育学及び音楽学の専門分野では、口述試験の中で外国語能力に関する試問を行う場合がある。

(2)専門科目試験・口述試験

- ① 演奏は暗譜で行ってください。ただし、伴奏者として受験する場合や、室内楽曲を演奏する場合は、譜面を使用することができます。また、図形楽譜など特別な事由がある場合には、事前に入試課に相談してください。
- ② 譜面台等を使用する場合は、事前に入試課に連絡してください。
- ③ 願書受付後、受験曲や志望する専門分野の変更は認めません。
- ④ 共演者を必要とする場合は、志願者が同伴してください。
- ⑤ 伴奏を必要とする場合は、原則としてピアノ伴奏のみとし、伴奏者は受験者が同伴してください。なお、譜めくりを必要とする場合も受験者が同伴してください。

専門分野	課題
器楽 〔ピアノ、 ピアノ伴奏、 弦楽器、 管楽器、 打楽器〕	1) 60分程度の自由曲によるリサイタル・プログラムを提出。演奏する箇所は、当日指定する。 プログラムには、博士研究のテーマに関連する曲目を1曲以上(ソナタ、組曲等からの楽章抜粋も可)含めること。ただし、ピアノで受験する場合は、協奏曲及び室内楽を除く。また、ピアノ伴奏で受験する場合は、歌曲伴奏や室内楽を主とするが、独奏曲(20分以上)を含めること。 2) 修士論文等の提出書類及び実技試験に関する口述試験。
声乐	1) 自由曲をダウンロードした曲目届に入力し、20曲提出(手書き不可、オペリアリア、重唱を含んで良い)。 提出された曲から、当日演奏する曲を指定して5日前に通知する。 ・曲名は原語と邦訳で記入、各曲の正味演奏時間も記入すること。 ・アリア、重唱は演技をつけてもよい。小道具の使用はなし。 ・伴奏者、重唱の相手は各自で同伴する。伴奏はピアノのみ。 ・前奏、間奏、後奏は省略可(カット箇所を提出書類に記入すること)。(演奏時間、曲数は応募状況による) 2) 修士論文等の提出書類及び実技試験に関する口述試験。

専門分野	課題
作曲指揮 (作曲)	1) 楽譜審査 〔提出するもの〕 ①自作品3曲の楽譜(作曲年を記入のこと) ②上記3作品全ての演奏音源(映像を含む音源も可。収録年月日を明記) ③それぞれの作品の作者本人による解説文を、1作品につき800字程度(A4用紙1枚)にまとめて、作品と同時に提出。解説文には作品名及び氏名を記入のこと。 〔提出方法〕 窓口持参又は郵送にて提出のこと。 締切：2022年1月18日(火)(窓口持参の場合は17:00まで) 〔楽譜について〕 原譜ではなく複写(コピー)したものを提出のこと。表紙には氏名、タイトル、作曲年、楽器編成を明記すること。製本はしないこと。 原則として提出楽譜の大きさはA3サイズまでとするが、A3以上の場合は事前に申し出ること。 2) 修士論文等の提出書類、提出作品及び研究計画書に関する口述試験。
作曲指揮 (指揮)	1) 動画審査：1年以内に演奏会でオーケストラを指揮した動画をYouTubeに限定公開し、そのリンクURLをメールで出願時に入試課宛てに提出すること(録音日時、場所を明記)。試験が終了するまで削除しないこと。 提出先：nyushi@tokyo-ondai.ac.jp ※YouTubeのアップロード方法については入試案内(大学院)に掲載のYouTubeマニュアルを参照してください。 2) 指揮実技(ピアノ2台による) 受験者はバロック、クラシック、ロマン、近代、現代から予め30曲を提出。当日1曲指定(ピアニストは本学で用意する)。 3) ピアノ実技 ベートーヴェン ピアノ協奏曲 第1番ハ長調作品15第1楽章よりピアノ独奏パート 4) 小論文(120分) 5) 修士論文等の提出書類及び実技試験に関する口述試験。
ソルフェージュ	1) 与えられた旋律聴音課題(二声)と新曲視唱課題を参考に、同程度のものを各1題ずつ作成する(3時間)。 2) 実技試験、修士論文等の提出書類、研究計画に関する口述試験。
多文化音楽実践	1) 60分程度の自由曲によるリサイタル・プログラムを提出。演奏する箇所は、当日指定する。 プログラムには、博士研究のテーマに関連する曲目を1曲以上(組曲等からの楽章抜粋も可)含めること。 2) 修士論文等の提出書類及び実技試験に関する口述試験。
音楽教育学	1) 専門分野の論文(修士論文を含む)に関する口述試験。 2) 提出書類に基づく、研究計画についての口述試験。 3) 外国人留学生特別選抜の受験者については、口述試験の中で外国語能力に関する試問を行う。
音楽学	
多文化音楽研究	

7 出願の流れ

出願方法はWeb出願のみです。

本学ホームページの「入試案内(大学院)」にある「出願ガイド」内の「出願情報の登録」より、下図手順に沿って出願を行ってください。

※出願書類の郵送を終えて出願完了となります。

<「出願ガイド」、「出願書類ダウンロード」などWeb出願に必要なページの掲載場所>



STEP 1

① Web出願にあたっての事前準備(詳しくは「出願ガイド」をご覧ください)

- ☐ インターネットに接続しているパソコン、タブレット、スマートフォンのうち、いずれかの機器
- ☐ メールアドレス
- ☐ プリンター※
- ☐ PDF表示・印刷ソフトウェア
- ☐ 本人写真(カラー写真データ)

※自宅にプリンターがない場合、コンビニエンスストア等のマルチコピー機を使用してください。

② 「出願ガイド」からユーザー登録を行う

③ 出願書類を確認・準備する

募集要項に記載されている必要な書類を確認・準備してください。

STEP 2

「出願ガイド」から出願登録を行う

「出願ガイド」を一読した上で、同サイト内の「Web出願サイトはこちら」から出願登録を行ってください。

(「出願ガイド」：<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/webentry/>)

STEP 3

入学検定料のお支払い

「コンビニエンスストア」、「クレジットカード」、「Pay-easy」で期限までに検定料をお支払いください。

※検定料のほかに支払手数料が必要です。

STEP 4

出願書類の印刷・記入及び出願書類郵送

- ① 本学ホームページ「入試案内(大学院)」から「出願書類ダウンロード」を選択し、受験する入学試験の必要書類を印刷・記入してください。

(「出願書類ダウンロード」：https://www.tokyo-ondai.ac.jp/graduate_school/exam)

- ② レターパックライトまたはその他の追跡できる手段(簡易書留など)を使用して、出願書類を郵送してください。レターパックライトを使用する場合は「Web出願サイト」から印刷した宛名ラベルを貼り、郵送してください(論文等の封入でレターパックの規格の厚みを超える場合は、簡易書留等別の方法で送付してください)。

郵送をもって出願完了となります。

※海外から日本への郵便到着に不安がある方は、提出書類のPDFをメール添付やファイル送信サービスにて9「問い合わせ先」のメールアドレスに送付してください。

STEP 5

受験票・試験日程詳細の印刷

検定料支払い後、受験票の印刷が可能となります。メールの案内に従って「受験票」を印刷してください。試験日程詳細は別途メールにて送信しますので、内容をご確認の上、試験当日は受験票を持参して会場にお越しください。

8 合格発表

合格発表は、2022年2月26日(土) 15:00~2月28日(月) 17:00にホームページで受験番号による発表となります。電話での問い合わせには応じません。合格者には、合格通知書とともに、入学手続きに必要な書類を入学願書に記入された住所あてに郵送します。

9 問い合わせ先

【入試課】

直通電話：03-6455-2754 (日・祝除く 9:00~17:00)

メール：nyushi@tokyo-ondai.ac.jp

【新型コロナウイルス感染症(covid-19)に関するお知らせ】

※新型コロナウイルス(covid-19)感染状況により、試験会場、試験方法が変更になることがあります。

※入構の際、マスクを着用してください。入り口で検温、手指の消毒を行うことをご了承ください。

<追試験について>

新型コロナウイルス感染症に関係する事由*により受験できなかった場合は、入学検定料及び出願内容をそのまま振替えて追試験を受けることができます。

- * (1)新型コロナウイルス感染症が疑われる発熱、咳などの症状がある者
- (2)新型コロナウイルスに感染して治癒していない者
- (3)新型コロナウイルス感染者の濃厚接触者とされた人、または検査結果を待っている者

[連絡先] 東京音楽大学入試課 電話：03-6455-2754 FAX：03-6455-2774



一般選抜入学試験

1 出願資格

次のうち、いずれかに該当する者

- (1) 修士の学位や専門職学位を有する者、又は2022年3月31日までに取得見込みの者
 - (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2022年3月31日までに授与される見込みの者
 - (3) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者及び2022年3月31日までに授与される見込みの者
 - (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者及び2022年3月31日までに授与される見込みの者
 - (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2022年3月31日までに授与される見込みの者
 - (6) 大学を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
 - (7) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2022年3月31日において24歳に達している者
- ※(7)の出願資格で出願を希望する場合、事前に出願資格審査を行います。2021年11月13日(土)までに所定の申請書をご提出ください。

2 出願書類

- ① 出願登録後、志願票・宛名ラベルをダウンロードし、ページの拡大縮小はせずにA4サイズで印刷してください。
- ② 本学ホームページの「出願書類ダウンロード」から必要書類をダウンロードし、印刷してください。ダウンロードする書類は入力、手書きいずれも可です。
出願書類を一括し、下記の出願書類一覧に記載されている出願書類を郵送してください。

(「出願ガイド」内「Web 出願サイトはこちら」からアクセス)

A. Web 出願サイト(ユーザー登録、出願情報の登録志願票、宛名ラベル印刷)

<https://lsg.grapecity.com/tokyo-ondai/App/Account/login>



B. 出願書類ダウンロード

https://www.tokyo-ondai.ac.jp/graduate_school/exam



	出願書類		注意事項
1	志願票	上記AのURLから印刷してください	Web出願サイトに必要事項を入力し、申込手続き完了後印刷してください。
2	宛名ラベル (レターパック仕様)		書類発送にレターパックを使用する場合は貼り付けてください(拡大・縮小せずA4で印刷)。

出願書類		注意事項																			
3	志望理由書	p.10BのURLから印刷してください																			
4	履歴書																				
5	業績書		研究業績、音楽活動業績を含みます。 作品等の視聴覚資料を添付しても構いません。																		
6	研究計画書		研究題目名(40字以内) 1)研究の背景と目的(800字程度) 2)研究の方法と年次計画(1,500字程度) 3)予想される研究成果とその社会的価値(800字程度)																		
7	曲目届出用紙		器楽、声楽、指揮は提出(声楽は手書き不可、入力して提出すること)																		
8	同意書		「非対面式」受験者のみ																		
9	出願書類 チェックリスト		出願書類を郵送する前に各書類が揃っているかチェックし、出願書類と共に提出してください。																		
10	博士前期課程(修士課程)修了(見込み)証明書		学位授与機構によって学位を授与された者は、修了証明書及び成績証明書と併せて学位授与証明書を提出してください。 学位取得見込みの場合は学位授与申請受理証明書を提出してください。																		
11	博士前期課程(修士課程)成績証明書																				
12	修士論文(又はそれに代わるもの)及びその要旨 ※修士論文を正式に大学へ提出していない場合は、その写しに提出予定日を附記すること。		「修士論文に代わるもの」は以下のとおり。 <table><tr><th>専門分野</th><th>修士論文に代わるもの</th></tr><tr><td>器楽、声楽、 多文化音楽実践</td><td>作曲家、作品、演奏等に関する小論文(8,000字以上)、その他の論文※</td></tr><tr><td>作曲</td><td>自作品に関する論述(20,000字以上)</td></tr><tr><td>ソルフェージュ、 音楽教育学、音楽学、 多文化音楽実践</td><td>学会誌、紀要等に掲載の論文</td></tr><tr><td>指揮</td><td>なし(修士論文に限る)</td></tr></table> 要旨は日本語とし、その字数は以下のとおり。 <table><tr><th>修士論文等</th><th>使用言語</th><th>要旨の字数</th></tr><tr><td rowspan="2">修士論文又は それに代わるもの</td><td>日本語</td><td>4,000字以内</td></tr><tr><td>日本語以外</td><td>10,000字程度</td></tr></table>	専門分野	修士論文に代わるもの	器楽、声楽、 多文化音楽実践	作曲家、作品、演奏等に関する小論文(8,000字以上)、その他の論文※	作曲	自作品に関する論述(20,000字以上)	ソルフェージュ、 音楽教育学、音楽学、 多文化音楽実践	学会誌、紀要等に掲載の論文	指揮	なし(修士論文に限る)	修士論文等	使用言語	要旨の字数	修士論文又は それに代わるもの	日本語	4,000字以内	日本語以外	10,000字程度
専門分野	修士論文に代わるもの																				
器楽、声楽、 多文化音楽実践	作曲家、作品、演奏等に関する小論文(8,000字以上)、その他の論文※																				
作曲	自作品に関する論述(20,000字以上)																				
ソルフェージュ、 音楽教育学、音楽学、 多文化音楽実践	学会誌、紀要等に掲載の論文																				
指揮	なし(修士論文に限る)																				
修士論文等	使用言語	要旨の字数																			
修士論文又は それに代わるもの	日本語	4,000字以内																			
	日本語以外	10,000字程度																			
13	専門分野別の提出物		p.6～7参照																		

【注意】

- (1)日本語以外の証明書や文書等を提出する場合は、日本語の全訳及び公証書を添付してください。
- (2)改姓等により各種証明書の氏名が出願時の氏名と異なる場合、戸籍抄本を提出してください。
- (3)出願後の提出書類の変更は認めません。また、提出された書類や検定料等は返還しません。ただし、住所・氏名・電話番号に変更があった場合は、すみやかに入試課へご連絡ください。
- (4)出願書類に虚偽の記載があった場合、出願を無効とします。
- (5)出願書類がすべて揃っていない場合、出願期間を過ぎたものは受け付けできませんので注意してください。
- (6)身体に障がい等があり、受験上の特別な措置及び修学上の特別な配慮が必要な場合は、出願前に入試課へご連絡ください。
- (7)上表12の※印の「その他の論文」については、出願前に入試課へお問い合わせください。

Ⅳ 社会人特別選抜入学試験

多様な学修歴を持つ社会人のニーズと社会的要請に応えるために実施する。

1 出願資格

(1) ～ (7)のいずれかに該当し、かつ(8) ～ (10)のいずれか一つに該当する者

- (1) 修士の学位や専門職学位を有する者、又は2022年3月31日までに取得見込みの者
 - (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2022年3月31日までに授与される見込みの者
 - (3) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者及び2022年3月31日までに授与される見込みの者
 - (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者及び2022年3月31日までに授与される見込みの者
 - (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2022年3月31日までに授与される見込みの者
 - (6) 大学を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
 - (7) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2022年3月31日において24歳に達している者
 - (8) 出願時において大学又は研究所等に正規の教職員として勤務し、入学後もその身分を有し、所属長から推薦を受けた者
 - (9) 出願しようとする専門分野に関連した職種に3年以上の勤務経験を有すると本学大学院が認めた者
 - (10) 出願しようとする専門分野に関連した活動を3年以上行っていると本学大学院が認めた者
- ※(7)・(9)・(10)の出願資格で出願を希望する場合、事前に出願資格審査を行います。2021年11月13日(土)までに所定の申請書をご提出ください。

2 出願書類

- ① 出願登録後、志願票・宛名ラベルをダウンロードし、ページの拡大縮小はせずにA4サイズで印刷してください。
- ② 本学ホームページの「出願書類ダウンロード」から必要書類をダウンロードし、印刷してください。ダウンロードする書類は入力、手書きいずれも可です。
出願書類を一括し、下記の出願書類一覧に記載されている出願書類を郵送してください。
- ③ レターパックライトは郵便ポスト、コンビニ、郵便局等から発送してください。
その他の追跡できる手段(簡易書留など)で郵送する場合は郵便局窓口へ直接持参してください。
※出願書類は出願期限最終日の消印有効です。出願最終日に郵送する際、必ず郵便局の窓口を通じて郵送してください。

(「出願ガイド」内「Web 出願サイトはこちら」からアクセス)

A. Web出願サイト(ユーザー登録、出願情報の登録志願票、宛名ラベル印刷)

<https://lsg.grapecity.com/tokyo-ondai/App/Account/login>



B. 出願書類ダウンロード

https://www.tokyo-ondai.ac.jp/graduate_school/exam



出願書類			注意事項
1	志願票	上記AのURLから印刷してください	Web出願サイトに必要事項を入力し、申込手続き完了後印刷してください。
2	宛名ラベル (レターパック仕様)		書類発送にレターパックを使用する場合は貼り付けてください(拡大・縮小せずA4で印刷)。
3	志望理由書	上記BのURLから印刷してください	
4	履歴書		
5	業績書		研究業績、音楽活動業績を含みます。 作品等の視聴覚資料を添付しても構いません。
6	研究計画書		研究題目名(40字以内) 1)研究の背景と目的(800字程度) 2)研究の方法と年次計画(1,500字程度) 3)予想される研究成果とその社会的価値(800字程度)
7	曲目届出用紙		器楽、声楽、指揮は提出(声楽は手書き不可、入力して提出すること)
8	同意書		「非対面式」受験者のみ
9	出願書類 チェックリスト		出願書類を郵送する前に各書類が揃っているかチェックし、出願書類と共に提出してください。
10	在職証明書		学校、官公庁、企業等の所属長が発行する在職証明書
11	博士前期課程(修士課程)修了 (見込み)証明書		学位授与機構によって学位を授与された者は、修了証明書及び成績証明書と併せて学位授与証明書を提出してください。 学位取得見込みの場合は学位授与申請受理証明書を提出してください。
12	博士前期課程(修士課程) 成績証明書		

	出願書類	注意事項		
13	修士論文(又はそれに代わるもの)及びその要旨 ※修士論文を正式に大学へ提出していない場合は、その写しに提出予定日を附記すること。	「修士論文に代わるもの」は以下のとおり。		
		専門分野	修士論文に代わるもの	
		器楽、声楽、 多文化音楽実践	作曲家、作品、演奏等に関する小論文(8,000字以上)、その他の論文※	
		作曲	自作品に関する論述(20,000字以上)	
		ソルフェージュ、 音楽教育学、音楽学、 多文化音楽実践	学会誌、紀要等に掲載の論文	
		指揮	なし(修士論文に限る)	
		要旨は日本語とし、その字数は以下のとおり。		
		修士論文等	使用言語	要旨の字数
修士論文又は それに代わるもの	日本語	4,000字以内		
	日本語以外	10,000字程度		
14	専門分野別の提出物	p.6～7参照		

【注意】

- (1) 日本語以外の証明書や文書等を提出する場合は、日本語の全訳及び公証書を添付してください。
- (2) 改姓等により各種証明書の氏名が出願時の氏名と異なる場合、戸籍抄本を提出してください。
- (3) 出願後の提出書類の変更は認めません。また、提出された書類や検定料等は返還しません。
ただし、住所・氏名・電話番号に変更があった場合は、すみやかに入試課へご連絡ください。
- (4) 出願書類に虚偽の記載があった場合、出願を無効とします。
- (5) 出願書類がすべて揃っていない場合、出願期間を過ぎたものは受け付けできませんので注意してください。
- (6) 身体に障がい等があり、受験上の特別な措置及び修学上の特別な配慮が必要な場合は、出願前に入試課へご連絡ください。
- (7) 上表13の※印の「その他の論文」については、出願前に入試課へお問い合わせください。

3 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例について

本学博士後期課程では、社会人学生を対象に大学院設置基準第14条の規定による教育方法の特例を実施します。

大学院設置基準第14条では、「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には夜間その他特定の時間又は期間において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」旨規定されています。

本学大学院では、この募集要項に基づき、博士後期課程に入学する社会人学生は、本学が定める通常の教育課程に基づく履修のほか、主指導教員及び副指導教員の指導のもとに、夜間及び土曜日等を利用した特別の履修計画に従い修学することができます。この特例により、履修上特別の配慮を希望する者は、あらかじめその希望を提出の上で受験することとします。

特例による具体的な履修方法は、次のとおりです。

- (1) 入学時に、指導教員の指導のもとに3年間を見通した履修計画を作成します。
- (2) 特例による授業科目は、「博士総合研究指導」及び「専門研究科目Ⅰ・Ⅱ」の3科目です。「博士総合演習Ⅰ・Ⅱ」、「博士共同研究AⅠ・AⅡ」及び「博士共同研究BⅠ・BⅡ」は合同演習のため、本学が定める授業実施日及び時間となり、特例の適用はありません。
- (3) 特例による授業時間帯は、原則として夜間の90分(17:20～18:50、19:00～20:30)並びに土曜日に設定するものとし、当該授業担当教員と履修学生の実情に即して柔軟に設定するものとします。



外国人留学生特別選抜入学試験

本学は、教育研究の向上を図り、国際交流を推進するため、優秀な外国人留学生の受入れを特別選抜入学試験により実施する。

1 出願資格

日本国籍を有しない者で、日本の大学院修士課程または博士前期課程を修了した者(修了見込みを含む)は、外国人留学生特別選抜の対象とはならない(国費外国人留学生を除く)。

(1) ～ (6)のいずれかに該当し、かつ(7) ～ (9)の全てに該当する者

- (1) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2022年3月31日までに授与される見込みの者
 - (2) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者及び2022年3月31日までに授与される見込みの者
 - (3) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者及び2022年3月31日までに授与される見込みの者
 - (4) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2022年3月31日までに授与される見込みの者
 - (5) 大学を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
 - (6) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2022年3月31日において24歳に達している者
 - (7) 入学時、「出入国管理及び難民認定法」による「留学」の資格を有すること。
 - (8) 日本語能力試験N1を有すること。
 - (9) 確実な身元保証人がいること。身元保証人は、日本国内に居住し、生計を立てている成年者で、受験者の学費と一身上の一切の責任を負うことができる者であること。
- ※(6)の出願資格で出願を希望する場合、事前に出願資格審査を行います。

2021年11月13日(土)までに所定の申請書をご提出ください。

2 出願書類

- ① 出願登録後、志願票・宛名ラベルをダウンロードし、ページの拡大縮小はせずにA4サイズで印刷してください。
- ② 本学ホームページの「出願書類ダウンロード」から必要書類をダウンロードし、印刷してください。ダウンロードする書類は入力、手書きいずれも可です。
出願書類を一括し、下記の出願書類一覧に記載されている出願書類を郵送してください。
- ③ レターバックライトは郵便ポスト、コンビニ、郵便局等から発送してください。
その他の追跡できる手段(簡易書留など)で郵送する場合は郵便局窓口へ直接持参してください。
※出願書類は出願期限最終日の消印有効です。出願最終日に郵送する際、必ず郵便局の窓口を通じて郵送してください。

(「出願ガイド」内「Web 出願サイトはこちら」からアクセス)

A. Web出願サイト(ユーザー登録、出願情報の登録志願票、宛名ラベル印刷)

<https://lsg.grapecity.com/tokyo-ondai/App/Account/login>



B. 出願書類ダウンロード

https://www.tokyo-ondai.ac.jp/graduate_school/exam



	出願書類		注意事項
1	志願票	上記AのURLから印刷してください	Web出願サイトに必要事項を入力し、申込手続き完了後印刷してください。
2	宛名ラベル (レターパック仕様)		書類発送にレターパックを使用する場合は貼り付けてください(拡大・縮小せずA4で印刷)。
3	志望理由書	上記BのURLから印刷してください	
4	履歴書		
5	業績書		研究業績、音楽活動業績を含みます。 作品等の視聴覚資料を添付しても構いません。
6	研究計画書		研究題目名(40字以内) 1)研究の背景と目的(800字程度) 2)研究の方法と年次計画(1,500字程度) 3)予想される研究成果とその社会的価値(800字程度)
7	曲目届出用紙		器楽、声楽、指揮は提出(声楽は手書き不可、入力して提出すること)
8	同意書		「非対面式」受験者のみ
9	出願書類 チェックリスト		出願書類を郵送する前に各書類が揃っているかチェックし、出願書類と共に提出してください。
10	在留カード等		在留カードの両面、又はパスポート(氏名・生年月日・パスポート番号・写真・有効期限及びビザ(査証)のページ)のコピーを提出してください。
11	日本語能力試験成績証明書(N1)		「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」を提出してください。
12	博士前期課程(修士課程)修了 (見込み)証明書		学位授与機構によって学位を授与された者は、修了証明書及び成績証明書と併せて学位授与証明書を提出してください。 学位取得見込みの場合は学位授与申請受理証明書を提出してください。
13	博士前期課程(修士課程)成績証明書		

	出願書類	注意事項		
14	修士論文(又はそれに代わるもの)及びその要旨 ※修士論文を正式に大学へ提出していない場合は、その写しに提出予定日を附記すること。	「修士論文に代わるもの」は以下のとおり。		
		専門分野	修士論文に代わるもの	
		器楽、声楽、 多文化音楽実践	作曲家、作品、演奏等に関する小論文(8,000字以上)、その他の論文※	
		作曲	自作品に関する論述(20,000字以上)	
		ソルフェージュ、 音楽教育学、音楽学、 多文化音楽実践	学会誌、紀要等に掲載の論文	
		指揮	なし(修士論文に限る)	
		要旨は日本語とし、その字数は以下のとおり。		
		修士論文等	使用言語	要旨の字数
修士論文又は それに代わるもの	日本語	4,000字以内		
	日本語以外	10,000字程度		
15	専門分野別の提出物	p.6～7参照		

【注意】

- (1) 日本語以外の証明書や文書等を提出する場合は、日本語の全訳及び公証書を添付してください。
- (2) 改姓等により各種証明書の氏名が出願時の氏名と異なる場合、戸籍抄本を提出してください。
- (3) 出願後の提出書類の変更は認めません。また、提出された書類や検定料等は返還しません。ただし、住所・氏名・電話番号に変更があった場合は、すみやかに入試課へご連絡ください。
- (4) 出願書類に虚偽の記載があった場合、出願を無効とします。
- (5) 出願書類がすべて揃っていない場合、出願期間を過ぎたものは受け付けできませんので注意してください。
- (6) 身体に障がい等があり、受験上の特別な措置及び修学上の特別な配慮が必要な場合は、出願前に入試課へご連絡ください。
- (7) 上表14の※印の「その他の論文」については、出願前に入試課へお問い合わせください。

VI 入学手続

1 入学手続

(1) 受付期間

郵送受付：2022年3月1日(火)～3月12日(土)消印有効

※上記の期間内に手続きを完了しない者は、入学の意志がないものとして合格を取り消しますので注意してください。

※外国人留学生は、入学時、「出入国管理及び難民認定法」による「留学」の資格を有すること。

※手続きの詳細については、合格発表後に郵送する関係書類に明示します。

(2) 入学手続きに必要な書類

- ① 誓約書(本学所定の用紙)
- ② 住民票または住民票記載事項証明書(3ヶ月以内のもの)
- ③ 学生証用写真
- ④ 保健調査票

下記の者は、2022年3月31日(木)までに証明書を提出してください。修士の学位が得られなかった場合は、その旨をすみやかにご連絡ください。

- ・2022年3月修士課程修了見込者(修了証明書及び成績証明書)
- ・学位授与機構に学位授与申請中の者(学位授与証明書)

(3) 入学辞退

入学を辞退するときは、2022年3月30日(水) 11:30までに申し出てください。学費をすでに納入している場合、入学金を除いた納付金を返還しますので、本学財務課で所定の手続きを行ってください(財務課 連絡先：03-6455-2747)。

2 学費

本学の学費については、以下のリンクをご覧ください。

<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/about/expenses>



VII 奨学金・経済的支援制度

本学の奨学金・経済的支援制度については、以下のリンクをご覧ください。

<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/information/12765.php>



VIII 成績開示

博士後期課程入学試験の成績開示については、入学試験を受験して不合格であった者から開示請求があった場合、開示します。

1 開示の請求方法

受験票、又は公的な身分証明書(免許証、パスポート等)、返信用封筒(切手を貼付)及び所定の申請書(後日ホームページで発表)を同封の上、「入学試験成績開示請求」と朱書きをして、特定記録郵便により入試課へ送付してください。

2 開示申請期間

2022年4月1日(金)～4月30日(土)

3 開示方法

申請書を受理した日から30日以内に、開示内容を記載した書面を受験者本人宛に特定記録郵便にて送付します。

IX 個人情報の取り扱いについて

1 個人情報の取り扱いについて

入学願書提出時に提供いただく「氏名、住所(連絡先)、その他の個人情報(以下、個人情報)」は、選考並びに入試の可否案内・入学手続きの連絡を行うために使用します。

なお、合格された方の上記個人情報につきましては、入学後は入学時に提出いただく学生カードと併せて学修指導、緊急連絡の他、学生生活の支援に必要なが生じた場合に使用します。

2 個人情報の管理・保管について

本学は、受験生の方々から提供を受けた個人情報を学校法人東京音楽大学個人情報保護規程に従い、厳重な管理体制の下で管理・保管し、受験生の方々の個人情報が第三者に漏洩しないようにいたします。

東京音楽大学

〒153-8622 東京都目黒区上目黒1-9-1

ホームページアドレス <https://www.tokyo-ondai.ac.jp/>

お問い合わせ先：入試課直通 03-6455-2754（月曜日～土曜日9:00～17:00）

03-6455-2774（FAX）

中目黒・代官山キャンパス

J R 「恵比寿駅」西口より徒歩約14分

私 鉄 東急東横線「代官山駅」正面口より徒歩約5分

東急東横線「中目黒駅」正面改札より徒歩約5分

地下鉄 日比谷線「中目黒駅」正面改札より徒歩約5分

池袋キャンパス

J R 「池袋駅」東口または「目白駅」より徒歩約15分

私 鉄 西武池袋線・東武東上線「池袋駅」より徒歩約15分

地下鉄 丸ノ内線・有楽町線「池袋駅」より徒歩約15分

副都心線「雑司が谷駅」より徒歩約5分

有楽町線「東池袋駅」より徒歩約15分

都 電 都電荒川線「鬼子母神前停留場」より徒歩約5分

バ ス 「東京音楽大学前」より徒歩約3分

〈アクセス〉



TCM

Tokyo College of Music Graduate School

東京音楽大学大学院